

令和2年5月11日



ふじみっ子だより



No. 1

名古屋市立富士見台小学校 学校だより

<http://www.fujimidai-e.nagoya-c.ed.jp>

昨年度末から、新型コロナウイルス感染症対策により、学校運営を大幅に見直しています。そのような中で、昨年度の卒業式、そして本年度の入学式が、規模の縮小があったとはいえ無事に挙行できたこと、本当に嬉しく思っております。一方で、感染症拡大を防ぐための運営も大切にしていかなければなりません。

そこで、4月、5月の学校行事につきましては、大幅な見直しを行っています。詳細につきましては、学校からのお便りやメールでお知らせいたします。このようなときだからこそ、学校、保護者、地域が一体となって子どもたちの成長を見守っていかれたらと考えております。

今年度も本校教育活動へのご理解、ご支援の程よろしくお願いいたします。

<ようこそ富士見台小へ ~入学式~>

4月6日に入学式が行われ、146名の1年生を迎えました。1年生は初めての体育館で行う式で、少し緊張しているようでしたが、校長先生のあいさつをしっかりと聞くことができました。話を聞く姿勢が、とても立派な1年生です。ご参列いただいた保護者の皆様、マスクの着用、運動場での待機等、感染防止のためのご協力、ありがとうございました。



<お世話になりました ~離任式~>



4月9日に予定されていた、本校から離任した教職員を送る離任式は中止となりました。当日は職員室にて、富士見台小や子どもたちへの思いをお話されていきました。子どもたちに直接最後の言葉を届けることはできませんでしたが、今年度の全職員がそのお気持ちをしっかりと受け止め、子どもたちに還元していきます。

令和2年度 学校教育努力点

「主体的に活動する児童の育成」

～ なかまとの対話の充実を目指して ～

学校教育努力点とは、富士見台小の子どもたちにとって、今、どんな力が必要で、その力を養うためには、どのようなことに重点を置いて指導していくか、職員で協議し、取り組んでいくものです。本校では、昨年度まで道徳の授業を通して対話する力を伸ばしてきました。それをふまえ、今年度は新学習指導要領の柱の一つでもある画一的な一斉授業からの転換に向けて、

歩みを進めたいと考えています。児童がなかまとの対話を通してより主体的に学びを深めていくためには、道徳で培った話し合いのスキルを、他の教科領域にも応用し、なかま対話する場面を増やしていく必要があります。学校規模が大きく児童数が多いという本校の実態を長所と捉え、多様な価値観に触れる機会を増やしていきます。そして、なかまとの対話の場面において、児童が主体的に活動する意欲を引き出す手立てをもち、主体的に活動する児童の育成を目指します。授業や子どもたちの様子については、授業参観や学年だよりでお伝えします。

<児童登校日の様子>



一列での分団登校



正門での人数確認



学級での様子



1年生 アサガオの種まき

ご家庭の様々な状況と、子どもたちの心のケア、そして新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑みての登校日となりました。子どもたちは、決められたルールをきちんと守り、学校での短い時間を有意義に過ごしていました。

皆様のご理解ご協力、本当にありがとうございました。